



めぎす子ども像
豊かな心を持った子
進んで学ぶ子
最後までやりぬく子

〒684-0404
 海士町福井394番地2
 TEL08514-2-0750
 FAX08514-2-0790
 Mail
 fukui0750@gmail.com

一学期を終えて

学校教育目標「豊かな心を育み最後までやりぬく主体的な児童の育成」の具現化を目指して以下の四つの取組を行いました。

Ⅰ 豊かな心を持った子

重点：人のために尽くす子

① 体験活動の充実
 海士町の穴もの「こ」を活用した学習に取り組みました。特に総合的な学習の時間では、五・六年生が地域の皆様に支えられながら知々井地区への歩くんジャー「こ」を成功させ



ました。
 ② 人権教育の充実
 いじめを「ないささない許さない学校」づくりに取り組みました。子どもたちの優しさが様々な場面で見られるようになりました。

③ 特別支援教育の充実

一人一人の教育的ニーズにあつた支援を行いました。特に、授業での個別支援を工夫しました。

④ 感性教育の充実

教室からは、毎日響きのある歌声が聞こえてきました。六月には全校で俳句づくりにも挑戦しました。

Ⅱ 進んで学ぶ子

重点：自ら問う子

① 基礎学力定着への取組
 スキルタイムでは漢字力・計算力・思考力育成に取り組みました。放課後には、補充指導にも取り組みました。

② 授業の充実

思考力・判断力・表現力を育てる授業の工夫を行いました。七月には三・四年生国語科の研究授業を行い、主体的な学習の在り方を追究しました。

③ 学校図書館教育の充実

学校司書さんや読み聞かせボランティアさんに協力していただきながら、読書活動を推進しました。

④ 研修の充実

授業の力量を高めるため、坂田指導主事に授業を観ていただくとともに、外部講師をお迎えし、研修会を行いました。

Ⅲ 最後までやりぬく子

重点：続ける子（〇〇）

① 基本的な生活習慣の定着
 子どもたちの学力や体力を高めるために、よい生活習慣の定着を目指し、チャレンジシートに取り組みました。保護者の皆様にはご協力いただき、ありがとうございました。

② 体力作りの充実

朝・マラソンや業間体育を工夫するとともに、体育科授業の充実を図りました。マラソン大会では、子どもたちが自己ベストを目指してがんばる姿がありました。

③ 食育の充実

子どもたちが毎日、給食放送をしたり、担任と学校栄養士さんが協力し、食育の授業を行ったりしました。

④ 集団作りの工夫

栽培活動や運動遊びで縦割り班活動を工夫して行いました。

Ⅳ 学校スローガン

汗が光り笑顔が輝き 歌声の響く福井小学校を目指してがんばりました。子どもたちが

一生懸命取り組む姿、わかたできたという笑顔、声を合わせて歌う姿がありました。
 保護者、地域の皆様には様々な面で今学期もご支援、協力いただき、ありがとうございました。二学期もよりよい学校づくりにご支援ご協力いただきますようお願い申し上げます。
 (文責 永海)

歩くんジャー「こ」

海士町内を歩きながらそのよさを発見する歩くんジャー「こ」では、一日目、北分大橋、宇受賀を通って明屋海岸でランチを取り、知々井公民館まで、二日目、御波からトンスルを通って福井へ抜け、家督山登山をし、福井小へ戻るルートを歩きました。

子どもたちは、歩くスピードでしか分からない景色、坂道のきつさ、地域の人、自然を味わったり、事前学習で学んだ「こ」を実際に確かめたり、クイズに挑戦したりしながら友達と協力して何とか歩ききることができました。始め



は元気がだつた子どもたちも後半になると少しずつ疲れが出始め、保々見では、めぼしい魚を釣ることはできませんでしたがゆとりとした時間の中で楽しめました。汗でくっついた顔の中、もう一度息を入れなおした夕食作りでは、各班で協力し合っていました。

もらい風呂では知々井の方々に大変お世話になりました。短時間でしたがとてもよい時間を過ごせたようです。

二日目のクライマックスは自分たちで作ったお弁当を持って家督山への登山。非常に暑くなり大変でしたが、励まし合いながら何とか登りきることができました。

福井小に戻ると、下級生と先生方が迎えてくれました。歩ききった子どもたちは、二日間のどついた疲れと歩ききった自信とで、いば



の顔。これを自信に次なる課題にもチャレンジしていつほしと思えます。

この歩くんジャー口は海士町を大きな学びの場ととらえ、たくさんの方々と密接な関わりを持たせていただくことにより成り立つ学習の一つです。事前学習、当日とたくさんの方々の保護者の皆様にお世話になりました。本当にありがとうございました。今後とも子どもたちの地域での学びのためにご協力をお願いいたします。

(文責 吉井)

校内マラソン大会

福井小学校では、毎朝五分間の朝マラソンの時間が設定されています。これは体力健康づくりの一環として行われています。また、朝に体を動かすことで目を覚まし、学習に集中できるようにすることもねらっています。

さて、朝マラソンの成果を発揮する場として校内マラソン大会を設定しています。今年も一回目のマラソン大会が七月五日に開かれました。

一年生は初めての参加でしたが、朝マラソンの時間に上級生と一緒に走つて汗をかき、本番に備えました。ここに、パワフル委員会もこのマラソン大会に向けて、朝マラソンがんばろうデーを設定し、各班で競いながらよいマラソン大会になるよう呼びかけたり、その日の成果を発表したりしてきました。

当日は、雨が心配されましたが、スタート時



には雨も止み、一回目のスタートの合図が大きく鳴り響きました。沿道に集まったたくさんの方々の熱い声援を受け、子どもたちは走りきることができました。大きな声援をありがとうございました。

校内マラソン大会の結果

- 一年生 男子一位 河内 喜智
女子一位 濱田 詩音
- 二年生 男子一位 池田 和嗣
女子一位 飯森 心胡
- 三年生 男子一位 河内 朝登
女子一位 塔本 結
- 四年生 男子一位 山崎 勇介
女子一位 福井 美里
- 五年生 男子一位 塔本 善
女子一位 宇野 瑞音
- 六年生 男子一位 青山 光輝
女子一位 磯谷 奈津子

(文責 福島)

七夕読み聞かせ

七夕の日、読み聞かせボランティアのチルシーさんによる七夕読み聞かせがありました。全校で音楽室に集まり、チルシーさんによるブラックシアターや絵本をスクリーンに映しての読み聞かせなどをしていただきました。子どもたちからは、曲と絵本の内容が合っていて面白かったです。「ブラックシアターの読み聞かせがきれいでした。」などの感想が出ました。また、次のクリスマス読み聞かせも楽しみです。」と次回の開催も楽しみにしている子どもたちです。



もたちでした。

(文責 兵馬)



川内選手来校

六月二〇日には、隠岐の島ウルトラマラソンに参加した川内優輝選手と弟の川内鮮輝選手が来校し、一緒に朝マラソンの曲に合わせて走ってくれました。子どもたちは果敢に挑戦しましたが、やはりかたやみませんでした。現状打破」という挑戦することの大切さ、素晴らしい話もしていただきました。日本のトランパーと一緒に走った経験は、忘れられない思い出となることでしょう。

(文責 中村)



浜崎先生による合唱指導

六月二三日、出雲市立第一中学校の浜崎先生が合唱指導に来校されました。浜崎先生は、NHK合唱コンクールへの常連校の名顧問であり、合唱指導が一流な方です。そんな先生に、三、四年生、五、六年生の子どもたちは「花は咲く」のアレンジや発声練習を習いました。初めての先生の音楽に緊張する姿も見られましたが、落ち着いて学習に臨み、音楽室や体育館で言われたことを意識して歌声を響かせました。個別のアドバイスもあり、子どもたちは、自信を高めることができました。

(文責 兵馬)



三四年生研究授業

一つの学年に一つの学年が存在する複式学級で、教育課程の見直しを図り、学年別指導を基本として授業を行っています。そして、今年度も複式教育推進指定校事業を受け、「主体性をもち、能動的に学び合う児童の育成」を研究主題に掲げ研究を進めています。特に国語の研究授業を重ねながら、継続的に校内研究を推進し、複式教育のよさを生かした授業づくり、複式教育のよさに学ぶ単式学級での授業改善に取り組んでいます。

七月七日には、訪問指導があり、三年生のもつすぐ雨に、四年生の「つたの花」のわたりの研究授業を実施しました。

一つの教室の中で、二つの授業が展開されていく、さらにそれを交流させるおもしさを、今回の研究授業の中でも、主体的に学習する子どもたちの姿から実感することができました。これらの取組を、学び方の向上につなげていきます。

(文責 中村)

